三種町

議会だより

令和３年
８月１日 発行
第62号

給食おいしい!!

（７／１　森岳小学校・じゅんさい給食）

もくじ

補正予算 ……2
議案審議、請願・陳情 ……3
一般質問（６人が登壇）……4～10
臨時会・委員会報告 ……11
ぼくたち・わたしたちの声 ……12

発行：三種町議会
編集：広報広聴常任委員会
〒018－2401　秋田県山本郡三種町鵜川字岩谷子８番地
TEL(0185)85－4831　FAX(0185)85－2178
URL http://www.town.mitane.akita.jp/

6月補正ピックアップ

※同型車を購入予定

研修バス購入事業

研修バスの更新に伴う購入費用

2,537万6千円

※平成24年度能代市開催の様子

秋田県種苗交換会協賛金

令和３年度能代市開催による協賛金

360万9千円

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

低所得の子育て世帯への支援

1,036万2千円

議案一覧	報告		専決									
	一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告	下水道事業会計予算繰越計算書の報告	令和２年度一般会計補正予算	令和２年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	令和２年度後期高齢者医療特別会計補正予算	令和２年度介護保険事業勘定特別会計補正予算	令和２年度介護サービス事業勘定特別会計補正予算	令和２年度温泉事業特別会計補正予算	令和２年度下水道事業会計補正予算	三種町税条例等の一部を改正する条例	三種町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	三種町介護保険条例の一部を改正する条例
賛成	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
反対	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結果	報告	報告	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認

議案審議

専決処分の承認を求めることについて（令和2年度三種町一般会計補正予算）

問 ふるさと納税の寄付金について、減額補正しているが、見込みよりも寄付額が伸びなかったのか。

答 その通りである。今年度は、サイトや返礼品の品数を増やすなどの対策を取る。

令和3年度三種町一般会計予算の補正について

問 研修バスの購入について、現在リースしているバスを購入するのか。

答 現在は27人乗りのバスをリースしているが、購入は、42人乗りを予定している。

問 予算計上から入札までの手順をルール化してはどうか。

答 今後指名審査委員会などで検討していきたい。

問 コロナワクチン接種業務に係る時間外手当を増額計上しているが、何人分の増額か。

答 1日あたり従事する職員数21人分に、9月までの集団接種日数38日を乗じて計上している。

問 三種町特殊勤務手当に関する条例に、感染症防疫作業手当の規定があるが、ワクチン接種業務は手当の対象ではないのか。

答 ワクチン接種業務については、該当しない旨通知があった。
人事院規則が一部改正され、宿泊施設での生活支援など、直接患者に接する場合に該当する。

ワクチン接種業務に従事する職員

請願 陳情 意見書

◇総務常任委員会

採択	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情 〔意見書を内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣へ送付〕 連合秋田能代地域協議会　議　長　石　岡　　貢

◇教育民生常任委員会

採択	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情 〔意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣へ送付〕 秋田県教職員組合　執行委員長　櫻　田　憂　子

※議長は採決に加わりません。

財産取得		条例		予算補正		人事				専決	
防災行政無線戸別受信機（山本地域）	除雪ドーザ	三種町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	国民健康保険事業勘定特別会計	一般会計	教育委員の任命	教育長の任命	固定資産評価審査委員の選任（3人）	農業委員の任命（22人）	三種町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例	三種町過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
可決	可決	可決	可決	可決	可決	同意	同意	同意	同意	承認	承認

一般質問

6議員が登壇 10項目を質す（ただ）

質　問　者

P 5　平賀　　真　議員
- ○ 統合中学校の建設地、しこりを残すな

P 6　安藤　賢藏　議員
- ● 三種町において飼料用米の作付けを増やす必要がある
- ○ 中学校統合について

P 7　児玉　信長　議員
- ○ 多頭飼育崩壊の未然防止について
- ○ 緊急小口資金融資の助成とたすけあい資金貸付限度額の増額を

P 8　堺谷　直樹　議員
- ○ 児童生徒の安全確保
- ○ コロナ禍における行事への対応

P 9　大澤　和雄　議員
- ○ 新型コロナウイルスワクチン接種について
- ○ 洋上風力発電について

P10　伊藤　千作　議員
- ○ 学校統廃合問題について

※　●印の質問については、誌面の都合上掲載できなかったものです。おって町ホームページに会議録を掲載しますので、そちらをご覧ください。

一般質問は６月10日に行われました。

一般質問とは、年４回の議会定例会において行われます。
議題とは関係なく、議員が町政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。
通告制が採用されており、通告（質問の届出）は、議員個人の判断によります。

統合中学校の建設地、しこり残すな

町長 丁寧に説明し、町民の理解を得たい

平賀 真 議員

平賀 昨年11月、小・中学校の在り方検討懇談会から提出された意見書を参考に、本年1月に教育委員会が学校再編整備計画を策定した。

その後、統合中学校の建設予定地をめぐり、3月議会や町民説明会でさまざまな意見が出された。

統合中学校の建設予定地に納得できない町民が反対運動を起こし、署名など政治的な活動に発展した場合、どのように対応していくのか。

町長 準備委員会での検討結果を町民の皆様に丁寧に説明し、納得いただき、広くご理解をいただけるよう進めたい。しこりが残らないのが理想である。

平賀 **建設費に町債を充てる場合の実質的な負担額は。**

また、建設地を民有地にした場合の買収費用と造成工事費用、要する期間は。

教育長 統合中学校の建設費は概算で約30億円を見込んでいる。

山本中敷地内または民有地に建設する場合の特定財源別の町の負担額は下表のとおりである。ただし、過疎対策事業債については、国の予算に対する県への配分枠があるため、起債対象事業費が全額同意されるかは非常に厳しい状況にあると考えている。

また、民有地にした場合、必要面積を5万㎡として、購入費8千万円、造成工事費4億円と見込んでいる。来年度から事業着手しても令和9年頃の完成と推察される。

平賀 **中学校の建設計画が順延された場合、小学校統合計画に与える影響は。**

また、小中学校再編決定までのタイムスケジュールを伺う。

教育長 工事が順延された場合、少子化による複式学級の解消を一番に考えていく必要がある。

また、再編準備委員会での検討後、教育委員会定例会、総合教育会議を開催し年度内に計画概要を示したい。

建設費に係る特定財源別の町の負担額

特定財源	山本中敷地内に建設した場合	山本中以外の民有地に建設した場合
過疎対策事業債	7億8100万円	5億5100万円
合併特例債	8億4700万円	7年度までに完成できなければ該当しない
学校教育施設等整備事業債	23億9800万円	10億2300万円

平賀 **山本中開校時の生徒数と7年度統合中学校の生徒数は。**

また、山本中開校以来、通学路での交通事故件数は。

教育次長 山本中は昭和50年4月に開校し、生徒数は580名であり、令和7年度に統合された場合の生徒数は255名である。

通学路での事故は、開校からの記録は残されていないが、近年はない。

平賀 **建設地の問題は長くなるほど感情的なものが増幅してくると思われる。十分に検討しながらも会を進め、結論を出していただきたい。**

町長 委員会で検討していただく。

統合中学校は二ツ森地区に建設を

教育長 再編準備委員会で検討していただく

安藤　賢藏 議員

安藤　今計画されている統合中学校の建設場所について、八竜地域や琴丘地域では、教育委員会が示している現在の山本中の校地は地理的に良くないという声が大きい。地図上で検討してみても、じゅんさいの館周辺や二ツ森地区が通学の利便性が最も良いと考えられる。

八竜、山本、琴丘の各地域の生徒が毎日通う場所であり、町全体のことを考え、安全で利便性の良いところを選択してもらいたい。

今回の学校再編計画は、町にとって50年、１００年の計とも言える重要な事業であり、実施計画が遅れてしまうとか予算がかかり増しになるということだけで決めようとするのは、将来に禍根を残すことに繋がるので、この点についての考えもお聞きしたい。

教育長　教育委員会では、令和２年度に策定した「小中学校再編準備計画」について検討を行うため、再編準備委員会の設置準備を進めており、その委員会において学校までの通学距離や時間、安全面などの条件をしっかり設定した上で、小中学校の再編時期やじゅんさいの館周辺も含めた統合中学校の建設について検討していただきたいと考えている。

安藤　現在の山本中から私が提案している二ツ森の高台までの間には５・４㎞の距離がある。

この距離は、八竜地域、琴丘地域の関係者にとっては大きな差であり、特に、朝の忙しいときや冬場の送り迎えのときは、保護者にとって時間的に大きなロスになると思われる。

一方、林崎や大町からの距離は現在の通学距離とあまり変わらないほか、鯉川方面からも利便性が良い。

これまでの教育委員会の説明からは、統合中学校の建設場所は既に山本中の校地に決まっているかのような印象を受けるが、安全面やその他の環境面において、二ツ森地区が統合中学校の建設地に最もふさわしいと思われる。

今回の再編計画は、今後の三種町の教育の根幹に関わることであり、これらのことを念頭に置きながら将来に禍根を残さないよう十分な検討をお願いする。

教育長　通学距離の測定は教育委員会でも行っており、そのような判断資料を再編準備委員会にしっかり提示し、委員の皆さんに慎重な議論をお願いしたいと考えている。

二ツ森地区を候補としては

多頭飼育崩壊を未然に防止せよ

町長 法令などの基準に従い対応

児玉　信長 議員

児玉　動物愛護の基本は、法律で定められている。適正飼養が困難な犬猫の所有者に対する繁殖防止措置の義務化や周辺生活環境保全措置のための都道府県知事による適正化、動物の不適切な取扱いへの対応の強化などがある。

しかし、猫屋敷などの多頭飼育崩壊が大きな社会問題となっている。

当町では、平成24年に、上岩川地区に移住してきていた家族が21匹の犬と共生するようになり、周辺住民からは騒音と悪臭についての苦情があった。

また、今年5月には鹿渡地区で、猫を多頭数飼っていた一人暮らしの方が亡くなり、親族からの捕獲の相談に応じ、町職員が2回にわたり、大小のケージに36匹を捕獲し、北秋田保健所に搬送した。

犬猫の多頭飼育の未然防止について、大変難しい問題であるが、各方面の専門家を集めた研修会を開催できないか。

町長　機会があれば県との共催により専門家を集めての研修会開催も要請していきたい。

児玉　多頭飼育によって周辺の住民に迷惑をかけてはならない。町独自に犬猫を10頭以上飼っている場合の届出制度を設けるべきではないか。

町長　多頭飼育の未然防止のための条例については、国の法律と県条例により、一定以上の動物を飼育する際には許可が必要とされているため、今後も法令などを精査しながら対応する。

町民生活課長　それぞれの地域で多頭飼育している世帯を把握して、県や獣医師とも相談し、前向きに検討する。

飼い主による適正管理を

緊急小口資金2分の1の助成を

町長 前向きにかつ慎重に判断

児玉　緊急小口資金は、新型コロナウイルス感染症の影響による休業などにより、収入が減少し、緊急かつ一時的な生計維持のための資金が必要な世帯を対象とする。最高限度額が20万円以内で、当町にも利用者がいる。2分の1の助成は考えられないか。

町長　令和2年度貸付決定は9件である。貸付制度は、全国同一の条件の下で運用されている。

申請件数並びに貸付決定件数も少ないので、前向きにかつ慎重に判断していきたい。

我が町の学校施設は安全か

教育長 点検結果により修繕の予定

堺谷　直樹 議員

堺谷　宮城県白石市の小学校で起きた防球ネットの倒壊事故を受け、県内の小中学校で緊急点検を実施したと思うが、我が町の学校施設はどうだったのか。

教育長　5月6日に職員が、金岡小学校の野球場バックネット支柱に腐食を確認した。

　点検翌日に修繕業者と状況を再確認し、修繕が完了するまで立ち入り禁止として注意喚起をしている。

堺谷　日常の点検頻度はどれぐらいで、誰がどのように行っているのか。

教育次長　日常点検は、学校の判断により実施され、遊具の年次点検は、保守点検業者が行う。

堺谷　他県においては体育館の床が剥離したとか、木造造りに起因した事故が発生しているようだが、体育館も点検しているか。

教育次長　体育館は、わか杉国体などで整備したため、傷みは少ないと認識しているが、学校から問題ありとの報告があればすぐに対処したい。

金岡小野球場のバックネット

コロナ禍における行事への対応は

町長 状況を見極めて判断したい

堺谷　コロナ禍によって町や地区の行事が中止となっていることは致し方ないことだが、その行事が町民の心を豊かにし、住民同士の絆を深めてきたこともまた事実である。

　ワクチン接種が始まった今年度、町の行事は中止ありきではなく「ウィズコロナ」の考えで対応する気はあるか。

町長　新型コロナウイルスの感染拡大は依然として終息する気配が見られない。

　地域の行事は町民の心を豊かにし、住民同士の絆の醸成など大きな活力になると理解しているが、感染リスクを考慮して開催の可否を判断したい。

堺谷　今年度の成人式は延期としたようだが、開催の可否は早く判断する必要があると思う。

　開催できると判断し得る材料は何か。

教育次長　実行委員会で協議した結果、関東圏で緊急事態宣言が出ていることもあり延期とした。

　今後、対象者へのアンケートの実施や会場の状況などを踏まえ、実行委員会で検討する。

堺谷　ワクチン接種が終われば例年通り行事を開催するのか。

町長　ワクチン接種がいつまでかかるのか不透明な部分はあるが、状況を見極めて判断したい。

保育士へコロナワクチン優先接種を

町長 接種計画を進める上で検討したい

大澤 和雄 議員

大澤 医療機関によるコロナワクチン個別接種は、5月から開始されているが、現段階での予約は停止されており、町の集団接種を予約・接種することとなる。

現在、コロナワクチンを接種された高齢者は320人とのことだが、今後の高齢者接種への対応は。

また、県内では高齢者施設や保育所などから、コロナワクチンの優先接種の要望が出されている。

高齢者施設の従事者については、施設における巡回接種を予定しているとのことだが、保育士への優先接種も実施すべきではないか。

町長 高齢者への集団接種については、4月26日から4200人分の予約を開始し、5月24日に予約枠に達している。

ただし、コールセンターにおいて、キャンセル待ちで登録があった方も、今後の集団接種へ上乗せして実施する。

高齢者施設従事者への接種については、施設と連絡調整を図り、順次進めていきたい。

保育士への優先接種については、基礎疾患を持つ方、60歳から64歳の方への接種計画を進めていく段階で、検討したいと考えている。

洋上風力、打設音への対応を

町長 不安解消に努める

大澤 大規模洋上風力発電の基礎杭打設工事が、能代火力発電所の沖合で始まった。能代市へは、この工事に伴う基礎杭の打設音について、苦情が寄せられている。

三種町の釜谷浜沖で計画されている風力発電の規模は、更に大きくなると言われている。

町として、工事の時間帯の設定や防音対策など、地域住民の安心安全のため、毅然とした対応が必要ではないか。

町長 釜谷浜沖への洋上風力発電施設建設については、事業者の決定後でなければ建設場所や規模、工法などは決定されないが、陸地から4㎞以内に2列程度、基礎構造については、モノパイル構造となる可能性が高く、能代港湾区域内での工事と同様、打設音が聞こえるものと予想される。

そのため、事業者決定後、工事に関する情報の事前周知を図り、騒音対策や、工事時間帯の配慮などについて申し入れ、不安解消に努めていきたい。

提供：秋田洋上風力発電株式会社

打設工事を行うＳＥＰ船

学校統廃合は現状維持も選択肢に

教育長 準備委員会の判断材料とする

伊藤 千作 議員

伊藤 学校統廃合は、未来永劫、歴史のある学校を地域から消却し、子どもや住民に多大な負担や苦労をかけ、生きがいを奪う非情さを伴う。学校規模が小さく、財政効率が悪くても、憲法第26条は「教育を受ける権利」を保障しているため、必要な経費を支出し、教育条件を整え、その利点や可能性を最大限追求するのが国や自治体の役割である。学校統廃合の検討に当たっては、この原則を踏まえ、軽率に提起すべきではない。

仮に学校統廃合計画を検討、提起する場合は、現状維持も選択肢に残すべきと思うが、これまでの経緯は。

教育長 小・中学校の在り方検討懇談会では、出生数、児童生徒数の推計、校舎の状況、これまでの再編整備方針などについて検討を行った。

懇談会からは、小学校は地域に1校、中学校は町1校に再編すべきとの意見書をいただき、教育委員会定例会と総合教育会議で再編計画について協議、計画書を作成し、今年の2月と4月に3地域で説明会を開催した。

伊藤 令和7年度統合時の生徒数は、琴丘55人、山本95人、八竜105人、計255人との推計が出た。これを見ると、急いで統合する必要があるのか。

3中学校を無理に一つにまとめなくても、10年、20年このままで、旧町ごとに中学校を残していく方向も1つの選択肢として考えていくべきだと思う。

今後、児童生徒が少なくなっていき、例えば小中学校1校ずつということになっても、それぞれの学校の教室が余っていくことは当然起きてくる。その時、小中一貫校ではなく、児童生徒が一緒に1つの学校を利用するなど経費をかけない方法もあるのではないか。

統合した時に255人いて、何年かしてまた減っていくとしても、今無理して令和7年に1つにしなくても、10年、20年のスパンで考えて、その先何ともならないということになったら考えればいいと思う。

教育長 今話し合ったことも、準備委員会などで、判断材料の1つにして話し合ってもらいたいと考えている。

八竜中学校

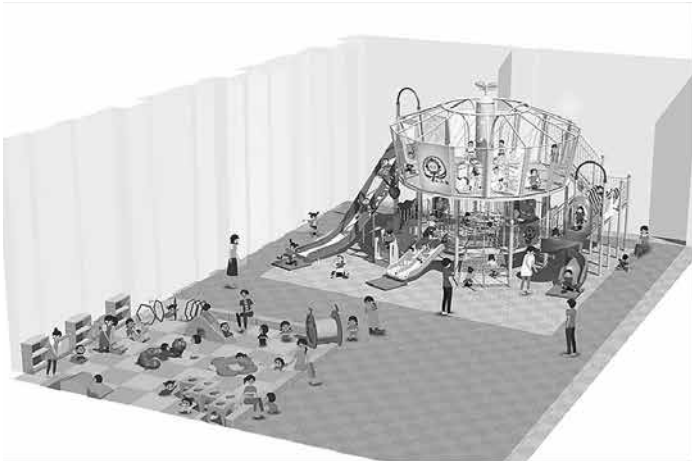
山本中学校

琴丘中学校

第１回 臨時会

期日：令和３年７月16日(金)

報告	専決処分の報告 （和解及び損害賠償の額の決定）	－
予算	一般会計予算補正	原案可決
条例	三種町手数料徴収条例の一部改正	原案可決
	三種町個人情報保護条例の一部改正	原案可決
工事請負契約の締結	三種町子育て交流施設建築工事	原案可決
	三種町子育て交流施設機械設備工事	原案可決
	森岳温泉別荘分譲中継ポンプ場改良工事	原案可決
財産取得	三種町子育て交流施設遊具	原案可決
	三種町研修バス	原案可決



令和４年度春にオープン予定の子育て交流施設
（山本農村環境改善センターを改修）

常任委員会報告

議会への意見・提案として「三種町では第三子の給食費は無料だが、町外の学校に通う場合は対象外である。第三子の給食費無料を全町民が受けられるよう制度の改正を議論していただきたい。」という意見が寄せられたため、教育民生常任委員会は、次のとおり所管事務調査を実施した。

○４月５日　県内市町村の制度調査
○４月21日　教育委員会事務局の説明聴取・委員間討議

制度調査

県内市町村に制度調査を依頼し、４月13日までに全市町村から回答を得た。

説明聴取

教育次長と次長補佐から、三種町学校給食費減額・免除実施要綱の制度などに関する説明を聴取した。

当該制度は、出生率の向上や保護者が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを促進し、保護者の経済的な負担の軽減を図ることを趣旨としているとのことであった。

意　見

県内市町村の給食費助成制度を調査した結果、当町における減免制度は、他市町村に比べて著しく低い助成水準にあるものではないことが認められた。

また、当該制度の趣旨は、三種町みらい創造プランに掲げられているとおり、町内における「子どもの育みを支える環境づくり」を整備するものであり、対象者を区域外就学者へも拡充することとした場合は、三種町立小中学校への就学者が減少してしまうことが懸念されるため、現行の対象者の捉え方については、妥当性があるものと考える。

ただし、教育委員会においては、区域外就学の理由について整理した上で、その理由をもって新たな助成制度を整備するかどうかを検討するなど、今後においてもなお一層の教育環境の充実に努められたい。

教育民生常任委員会
委員長　小澤　高道
副委員長　後藤栄美子
委　員　平賀　真
児玉　信長
大澤　和雄

とどけ! ぼくたち・わたしたちの メッセージ 声

琴丘小学校６年生の声

私たちの
学校の自慢

- あいさつが元気
- 外で遊ぶなど、元気いっぱい
- 笑顔であいさつをする明るい学校

金岡小学校６年生の声

私たちの
学校の自慢

- 全校児童63人なので、みんなで活動しやすく仲が良い
- ふるさと先生（地域の方々）との交流が多く、いろいろなことを教えてもらえる
- あいさつが大きい声で素晴らしい

編集後記

コロナで明けた令和３年もすでに半年を越えました。町のワクチン接種も進み、コロナ禍がこのまま大過なく終息することを願っております。

６月の定例議会では、小中学校の再編問題がクローズアップされました。その中でも、統合中学校をいつ、どこに建設するのかが大きな焦点になっております。

学校再編問題は、現在の保護者やＰＴＡ関係者だけではなく、将来の親世代や祖父母世代の深い関心事ではないかと思います。再編準備委員会では、未来に悔いが残らないよう、十分な意見交換が行われることを望んでおります。

梅雨も明けて、いよいよ夏本番を迎えました。

連日の暑さに、つい、「冬の方が」と思ってしまうこの頃です。

まもなくお盆です。皆様どうかご自愛のほどを。

清水　欣也　記